

【絵本についての質問】

質問1. 絵本の内容はわかりやすいものですか

- （ 1. とてもわかりやすい 2. わりにわかりやすい
3. わりにわかりにくい 4. とてもわかりにくい ）

質問2. 「質問1」で「3. わりにわかりにくい」, 「4. とてもわかりにくい」に回答した人におききします. わかりにくい理由はどのようなことですか

（
）

質問3. 絵本の内容は適切ですか

- (1. とても適切 2. わりに適切 3. あまり適切でない 4. まったく適切でない)

質問4. 「質問3」で「3. あまり適切でない」, 「4. まったく適切でない」に回答した人におききします. 適切でない理由はどのようなことですか

（
）

質問5. この絵本は, 授業—通常の学級の子もたちの障害理解のための授業—に利用できそうですか

- （ 1. とても利用できる 2. わりに利用できる
3. あまり利用できない 4. まったく利用できない ）

質問6. 「質問5」で「3. あまり利用できない」, 「4. まったく利用できない」に回答した人におききします. 利用できない理由はどのようなことですか

（
）

質問7. この絵本の言葉遣いは適切ですか

- (1. とても適切 2. わりに適切 3. あまり適切でない 4. まったく適切でない)

質問 8. 「質問 7」で「3. あまり適切でない」、 「4. まったく適切でない」に回答した人に
お願いします。添付の絵本の試案で、言葉遣いの適切でない箇所に印をつけてくだ
さい。また、可能であれば、適切な言葉遣いに修正してください

質問 9. この絵本のそれぞれのページの内容や構成について意見やコメントがありまし
たら記入してください

例

ページ番号 [2] ~ [3]

[この絵本のような子どもは、いないと思う。 文字が多すぎ。]

ページ番号 [] ~ []

[]

質問 10. この絵本に足りない、あるいは付け足したらよいことがありましたら、その
内容をお答えください

[]

質問 11. この絵本についての感想をご記入ください

[]

ご協力ありがとうございました。

資料 2

ブックレットの活用方法に関するアンケート

ブックレットの活用方法についておたずねします。

以下の質問の該当部分に○をしてください。

また、指導方法案等がありましたら詳細に記入していただくか、資料を添付いただけると幸いです。
よろしくお願いいたします。

全ての先生におたずねします。

1) ブックレットを活用した日を教えてください。(月 日)

2) 先生の担当されている学年を教えてください。() 年

3) どのような方法でブックレットを活用されましたか?

- ① ブックレットに登場する全ての事例を取りあげた
- ② 一部の事例を取りあげた
- ③ その他 ()

3) の①～③を選ばれた先生におたずねします。

4) ①～③のようにされた理由を教えてください。

3) で②を選ばれた先生におたずねします。

5) 活用した事例の名前(例:うみちゃん)を教えてください。

6) なぜその事例になさったのか、理由を教えてください。

全ての先生におたずねします。

7) ブックレットをいつ活用されましたか？

- ① 道徳の授業で使った
- ② 朝の会・帰りの会で使った
- ③ 授業時間外に使った
- ④ 一部の児童にたずねた
- ⑤ その他 ()

8) ブックレットをどのように活用されましたか？

- ① ブックレットを読んだのみ
- ② ブックレットの中の事例について話し合った
- ③ ブックレットを利用し、クラスにいるブックレットの中の事例と似たお子さんのことを話し合った
- ④ その他 ()

9) クラスのお子さんたちに何かたずねましたか？ もしたずねた場合には、その内容を教えてください。

- ① 本の中の子どもは何か困っていると思うか？
- ② 本の中の子どもはどのような気持ちだと思うか？
- ③ 本の中の子どもは何かして欲しいと思っているか？
- ④ 本の中の子どもをどう思うか？
- ⑤ 本の中の子どもがクラスにいたらどう思うか？
- ⑥ 本の中の子どもに何かしてあげたいと思うか？
- ⑦ 本の中の子どもに何が（手助け）できると思うか？
- ⑧ もし、自分が本の中の子どもだったら、何かしてもらいたいと思うか？
- ⑨ もし、自分が本の中の子どもだったら、何がしてもらいたいと思うか？
- ⑩ もし、自分が本の中の子どもだったら、何かしてもらって本当によかったと思うか？
- ⑪ その他 ()

10) クラスのお子さんたちの様子について簡単にご記入ください。

1 1) ブックレットと一緒に渡した調査方法の例（「最初の説明」「意見がないときの補足説明」「支援例」が書かれた紙）についてお尋ねします。

- ① この紙は役に立ちましたか？ a) はい
b) いいえ
c) どちらともいえない

② ①のようにお答えになられた理由についてご記入ください。

1 2) 具体的な活用方法の記載が可能でしたらご記入ください。

1 3) ブックレットを活用してみた感想・改善点をご記入ください。

貴重なご意見をありがとうございました。国立特殊教育総合研究所
「通常の学級における障害理解のためのツール開発に関する研究」チーム

[1] 先生へのお願い

私たちの研究グループでは「通常の学級に在籍する子どもたちが、障害のある子どもたちをどう受け止めているか」「そうした子どもたちに対する気づきのきっかけを作る際、先生方はどのようなことに配慮されているか」についての情報を得たいと思っています。

今回の調査では、ブックレットを使用いたしますが、それ以外につきましては、特に規定しておりません。先生方がいちばんやりやすいかたちでご参加いただき、のちほど、このブックレットを含め、このような授業のありかたについてのご意見、ご感想をお寄せ頂ければと思います。

[2] 子どもたちに対して最初にしてほしいこと

最初にイラストの場面について説明をしてください。

例えば 1 枚目のイラストでは、こんな説明の仕方を考えました。「ウミちゃんは病気があって、お医者さんから外で元気に遊ばないように言われています。だから、お友だちが楽しそうに縄跳びをしているのを見ても、一緒に遊ぶことができません。運動場に出ると、ウミちゃんはいつもひとりぼっちです。ひとりでお友だちが遊ぶ様子を見ているウミちゃんはどんなことを考えてるのかな？ どんなふうにも思ってるのかな？」というものです。

また、子どもたちが「病気ってどんな病気？」など先生にたずねてきた時には「お外で遊ぶと咳が出て止まらなくなっちゃうんだよ。それで夜も眠れないし、ひどくなると救急車で病院に行かないといけなくなることもあるんだよ」など、病気になってどんなことがあるか、子どもたちに分かりやすい言葉で説明をしてあげてください。

[3] 子どもたちにきいてみてほしいこと

場面の説明の後、まずはブックレットにでてくる色々な子どもたちについて、クラスの子どもたちがどんなふうにも思ったかについて尋ねてください。

そして、その後に支援についてきいてください。

問いかけ方は、例えば、

- ・「あなたなら何かしてあげたいと思う？」 → 「何をしてあげたらいいと思った？」
- ・「何か声をかけてあげたいと思う？」 → 「どんな声をかけてあげる？」
- ・「何かしてもらえたら嬉しくなると思う？」 → 「どんなことをしてもらえたら嬉しいと思うかな？」

など、できるだけ子どもたちの自由な発想が聞けるよう促してください。

もし、自分の意見をいうのに迷っている子がいたら、答えに正解も不正解も、良いも悪いもないことを伝えてあげてください。

[4] 調査方法の例

調査をおこなうにあたり、ブックレットの絵を見て場面を伝える「①最初の説明」、子どもから意見が出なかった時の「②補足説明」、その後の具体的な「③支援方法」の例をあげました。

これら全てについて、子どもたちの声をひろってくださってもよいですし、いくつかの場面を取り出して（例えば、「ウミちゃん」と「ヨコちゃん」）くださってもかまいません。

	① 最初の説明	② 意見がない時の補足説明	③ 支援例
1 ウミちゃん	ウミちゃんは病気があって、お医者さんから外で元気に遊ばないように言われています。だから、お友だちが楽しそうに縄跳びをしているのを見ても、一緒に遊ぶことができません。運動場に出ると、ウミちゃんはいつもひとりぼっちです。「ひとりでお友だちが遊ぶ様子をみているウミちゃんのことどう思う?」「ウミちゃんはどんなことを考えてるのかな? どんなふうに思ってるかな?」	病気について「お外で遊ぶと咳が出て止まらなくなっちゃうんだよ。それで夜も眠れないし、ひどくなると救急車で病院に行かないといけなくなることもあるんだよ」など、どんな状態になるか、子どもにわかりやすい言葉でさらに説明を加えてください。	
2 ロクくん	ロクくんは、小さい時から松葉杖がないと歩けません。だから、みんなと同じように歩いたり、走ったりすることができません。元気にドッジボールをしたいと思っても、杖があるのでボールを取るのは大変だし、早く走れないからすぐにボールに当たってしまいます。お友達はロクくんをドッジボールに誘っています。「ロクくんは、すぐに“いいよ!”とボール遊びに入っていくかな?」「みんなだったらロクくんを誘うかな?」「ロクくんはどんなことを考えるのかな?」	誘われてもすぐに仲間にはいつていこうとしないロクくんの気持ちについて、「僕が入るとチームが負けるって言われないかな?」「杖に引っかかったら怖いなあ」など一緒に遊びたい気持ちはあるけど、もっとたくさんの心配事があることを伝えてあげてください。	
3 ナツくん	ナツくんは学校に行けません。朝になるとお腹が痛くなったり、頭が痛くなったりしてとても辛いのです。ナツくんにもどうしてお腹が痛くなるのか分かりません。病院に行っても治りません。でも、毎朝調子が悪くなるのです。「朝になると学校に行かなくなるナツくんのことどう思う?」「ナツくんはどんなことを考えているかな?」	もし、身体のこと以外の心配ごとが浮かんでこないようでしたら、「これからもずっと学校に行けないんじゃないか」「みんなにずっと会えないんじゃないか」「学校に行った時、みんなに知らんぷりされちゃうんじゃないか」「悪口を言われるんじゃないか」など、学校や友達をめぐる心配の例もあげてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・時々でも家に遊びに行く。 ・学校のプリントを持って行ったり、学校で起こったことを話してあげる。

<p>4 ウララちゃん</p>	<p>ウララちゃんはとても目が悪くて、みんなと同じように座っていても黒板の字がよく見えません。とても度の強い眼鏡は掛けているのですが、大きな文字でないと字を読むことが難しいのです。それに、かなり近づかないと色々なものが見えません。そんなウララちゃんは「あっちだよ」「こっちだよ」と声を掛けられてもどっちのことを言っているのかよく分かりません。「ウララちゃんはこんな時にどう思うかな？ どうして欲しいかな？」</p>	<p>子どもたちに、遠くのものを見せたり、手で望遠鏡を作り、視野が狭くなった状態を体験してもらう。そして、自分がウララちゃんのようにだったらどんな気持ちになるか、どうして欲しいかたずねてください。</p>	<p>・ウララちゃんは、手をひいたり、「右だよ」など分かりやすく声をかける</p>
<p>5 ハナちゃん</p>	<p>ハナちゃんは本を読むのが苦手です。文字を1 つずつ読むのが大変で、とても時間がかかってしまいます。よく似た漢字は間違えてしまうこともあります。なので、声に出して教科書を読むのが嫌いなのです。「本を読むのが苦手なハナちゃんのことどう思う？」「みんなに色々言われて、ハナちゃんはどんな気持ちかな？」</p>	<p>もし、子どもたちからハナちゃんの内気持ちについて意見がでないようなら、「本をスラスラと読めるようになりたい。でも、できなくて困ってる」「授業中が怖い」「みんなにいろんなこと言われるかと思うとドキドキする」などの例をあげてみてください。</p>	<p>・「ハナちゃんが読むのをゆっくり待っていてあげる」 ・「一緒に読んであげる」</p>
<p>6 カブくん</p>	<p>カブくんはひとつのことにじっくりと取り組むことが苦手です。教室の外から聞こえてくる音が気になったり、空を飛んでいる飛行機や鳥が気になったりしてしまいます。また、つかれてくると授業中でも寝てしまったりします。「いつも先生が言うことと違うことをしているカブくんのことどう思う？」「カブくんはどうしていつも別のことしちゃうんだと思う？」</p>	<p>目や耳からいろいろなことが次から次へと入ってきて、気持ちがあっちこちにいってしまい「最後まで、じっくりがんばろう」と思っていることを伝えてください。</p>	<p>「ちゃんとしなよ!!」など、言わないようにする。</p>

<p>7 クリオくん</p>	<p>クリオくんは同じことを何度も繰り返して言うてみたり、いつも同じ質問をしてきたりします。こちらが話しかけても、答えてくれなかったり、全然違うことを言うてくることもあります。時々、大きな声を出して、悲しそうにすることもあります。「同じことを繰り返して言うて、大きな声を出したりするクリオくんのことどう思う?」「クリオくんはどうして同じことばかり言うと思う?」</p>	<p>「新しい場所に初めて行ったり、歯医者さんに行ったりする時、みんなはどんな気持ちになりますか?」とたずねてみてください。もし“怖い”“心配”などの声が出たら、そこからクリオくんのお話に繋げてください。みんなにとって心配なことはクリオくんにとってはとても怖いことで、自分を安心させるために何度も同じことを繰り返し訊ねて確認をしていることを伝えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「だいじょうぶだよ」と声をかける。 ・そっとしておく。
<p>8 ヨコちゃん</p>	<p>ヨコちゃんは、みんなより音が聞こえにくいので家の外に出ると心配なことがたくさんあります。後ろから来る車の音、自転車の音、気が付かなくてドキッとする場合があります。誰かが声をかけてくれても気がつかないこともあります。「ヨコちゃんはどうして返事をしないのかな?」「名前を呼ばれても返事をしないヨコちゃんのことどう思う?」</p>	<p>後ろからだ音が聞こえにくいことを体験してみます。耳をふさいで、後ろから小さな声で話し掛けられた時、「何か言われたか分かるかな?」「何を言われたか分かるかな?」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見て分かるように前から声を掛ける。 ・ヨコちゃんが分かりやすいように大きな声で話しかける。 ・聞こえていないようなら、書いて見せる。
<p>9 ノビオくん</p>	<p>ノビオくんはみんなと同じように動くことができません。みんなが普通にしていること、例えば、ごはんを食べたり、歩いたり、お話ししたりすることが難しいのです。「ノビオくんはみんなのことをみてどう思うかな?」</p>	<p>「みんなが自然にしていること、たとえば、息をすることも難しかったりする。だけど、みんなと仲良くしたいという気持ちはあるんだよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・声を掛ける。 (コミュニケーションを取る機会を増やす) ・車椅子を勢いよく押ししたりしない (驚くようなことをしない。)

国立特殊教育総合研究所

課題別研究グループ「通常の学級における障害理解のためのツール開発に関する研究」



こんな時、ハ十ちゃんはどう思っているのかな？



あなただったら、ハ十ちゃんに・・・

男・女

年

